



特集

## 手外科（てげか）

“手”を知り尽くしたスペシャリスト集団

- 医心伝心～医の最前線から～
- ナース・フェイス 私の看護、私の思い
- VOICE 医療連携の現場
- シリーズ 清恵会三宝病院  
看護師による充実したサポート
- 学院だより  
地域医療の未来を支える若き力
- 気軽にお体メンテナンス  
早期のチェックで病気にチャック!
- 清恵会グループ通信  
J-GREEN堺フェスティバルに参画しました!

「手指は、普段は何気なく使っていますが、ケガなどの疾患を抱えてしまうと、日常生活に大きな支障を来します。一般的に手指のトラブルは整形外科の診療領域にありますが、他の器官に比べて非常に繊細な組織が集まっており、その治療には専門的な知識と技術が必要となります」

手は、ちょっとした切り傷でも、痛みが気になります。これは、手指の神経が繊細だからこそ小さな痛みも大きなものに感じてしまう



**女性に多く加齢も原因？  
実は身近な手のトラブル**

手指のトラブルと聞くと、切り傷や骨折などのケガが一番に頭に

からです。また、手指の血管や神経は複雑に入り組んでいます。

「手指の組織は、腕から指へいくほど、繊細かつ微小なものになっていきます。例えば、手首周辺の血管は直径3mmほどの大きさですが、指の先端あたりになると、ゼロコンマ数mm単位になります。これは、脳を別にすれば、人体で最も微小な組織レベルです。こうした部位を手術する場合は、非常に高度な外科的技術が求められます」

浮かびます。しかし、その他にも病気が酷使、加齢などによるさまざまな疾患があり、日常生活で誰にでも起こり得るそうです。

「実際の臨床現場で多い症例で言うと、橈骨遠位端骨折（とうこつえんいたんこつせつ）、舟状骨骨折（しゅうじょうこつせつ）、マレット指変形が挙げられます。橈骨遠位端骨折や舟状骨骨折は、主な原因として転んで手を突いた衝撃で起こることが多い骨折です」

橈骨は腕からつながる太い骨で、橈骨遠位端骨折とは手首の関節付近にある部分が折れてしまうことです。舟状骨は手のひらの関節を形作る骨の一つで、親指の付け根付近にあります。

「舟状骨骨折は、スポーツ時の外傷として多く見られます。ただ、痛みが著しくないので本人が放置することがあります。しかし舟状骨は、血液の流れが悪いため骨がくっつきにくい特徴があり、3ヶ月以上放置しておく、正常な関節の可動が難しくなる偽関節（ぎかんせつ）へ悪化する場合があります」

マレット変形とは、いわゆる突き指です。これも放置すると症状が悪化することもあるそうです。

「マレット変形は、指の最も先端に



ある第一関節が曲がって伸びなくなることで、バレーボールや野球などスポーツに多い障害です。中には第一関節の腱が切れている場合があります。この場合、放っておくと指の第一関節は手のひら側に曲がり、第二関節が反るスワンネック変形になるケースがあります。スワンネック変形になると、指を正常に動かせなくなります」

スポーツをしないからといって安心はできません。外傷のほかに、手指には女性に多い疾患や加齢による疾患もあります。

「母指CM関節症やヘバーデン結節は、圧倒的に中高年の女性の方に多い疾患です。母指の関節は、医学的に第一関節を1P関節、第二

### 手外科とは、 手のプロフェッショナル

皆さんは、「一般社団法人日本手外科学会」という学会をご存知でしょうか。この団体は、1957年に設立され、人間の体の中で最も精密で鋭敏な感覚を持つ指や手、手関節・ヒジ関節の研究を目的とした医学会です。

しかし、私たちは普段の生活で、特に意識することなく手や指を使っています。専門の学会まであるという認識を持っていません。清恵会病院手外科部長で日本手外科学会認定手外科専門医でもある寺浦英俊先生は、手の重要性について語ります。

特集

# てげか 手外科

シブシブ

大阪外傷マイクロサージャリーセンター

“手”を知り尽くした  
スペシャリスト集団

生物の中で最も知能が高いヒトをヒトたらしめている身体機能の一つが、繊細で複雑な作業を可能にしている手や指です。日常生活のほとんどの動きを担う手指には、事故のほか加齢などを理由にさまざまなトラブルがあり、その治療には専門の知識が必要です。今号は、整形外科の中でも繊細な組織が集まる手指の症例を扱っている手外科をご紹介します。

清恵会病院 手外科部長  
寺浦 英俊

1993年、山口大学医学部卒業。大阪市立大学医学部付属病院、林病院、長吉総合病院等を経て、'01年に清恵会病院へ入職。日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本手外科学会認定手外科専門医、日本骨折治療学会評議員。



### 手関節鏡

関節鏡とは直径2~4mm程度の内視鏡を使用し、関節内病変を診断・治療する機械です。手関節の場合は直径1.9mmないしは2.7mmの関節鏡を使用し、手関節内の病変を直接的に観察することで、骨折、靭帯(じんたい)損傷、軟骨病変の詳細かつ正確な診断が可能です。

「橈骨遠位端関節内骨折の治療では、通常、X線透視下でプレートを固定する方法が一般的ですが、手外科ではプレートと関節鏡を併用する術式を採用しています。これにより、X線透視下では発見できないような細かな骨のズレや合併する靭帯損傷などに対して、適切な処置を行うことができます」

手指は、運動の頻度が高い器官であるため、治療後のリハビリテーションも重要になります。清恵会病院では、リハビリテーションチームを拡大し、理学療法士9名、作業療法士5名が在籍しており、手外科の医師、看護師、医療ソーシャル

### 機能回復を高める リハビリ体制も充実

「手外科では、ヒジから指にかけての血管、神経、骨、腱に関わる部分を扱っています。手指の切断などの再接着等に関しては、当院の大阪外傷マイクロサージャリーセンターが扱っており、微小外科手術を行っています」

その他にも、TFCC(手関節の小指側に存在する三角線維軟骨とその周囲の靭帯で構成される三角線維軟骨複合体)損傷に対する鏡視下手術、関節軟骨損傷に対する肋骨肋軟骨移植による関節再建術、舟状骨偽関節等への血管柄付き骨移植術など、専門的な術式を施行しています。また、手術のほかに、変形した骨を伸ばしたり整形したりする創外固定器などの新しい治療法も積極的に取り入れています。

ワーカー等で構成されるチーム体制で患者様一人ひとりに対する綿密なリハビリテーションを行っています。「リハビリテーションのミーティングは、2週間に二回のペースで行っています。ミーティングでは、患者様の状態や術式の内容、リハビリテーションの経過などについての情報をチームスタッフ全員で共有しています。普段から、各スタッフとの連携は緊密に取っています。リハビリテーションのメニューは、私たち医師が作成していますし、理学療法士や作業療法士などのセラピストから伝えられる患者様の状態に応じて、柔軟にメニューの変更を行っています」



### Next Feature

手指には、非常に繊細な神経が集まっており、専門的な診断・治療が必要となります。次号の「ふれあい」特集では、整形外科・スペシャルシリーズの第二弾として、手指の切断や神経損傷等を専門的に扱う大阪外傷マイクロサージャリーセンターを紹介致します。

「診療から治療、リハビリテーションまで、手外科では高い専門性と充実した連携体制で、手のトラブルに対応しています。」  
「専門医が5名もいる病院は、全国的にも少ないと思います。日常生活の大きな比重を占める手のあらゆる悩みに応えることができる体制だと思います」

運動箇所は、手術してできるだけ早い段階からリハビリテーションを始める方が効果は上がります。そのため、例えば手外科で手術を受けた患者様の場合、損傷の具合や術式によっては手術翌日からリハビリテーションへ移行します。

### その症状、手のトラブルかも!?

こんな症状がある場合は…手のトラブルの可能性が

母指から中指がしびれる、疼痛がある

#### ➡手根管症候群

指の付け根が痛む、指を動かすと引っかかる感じがする

#### ➡バネ指、腱鞘炎

指の第一関節に変形がある、疼痛がある

#### ➡ヘバーデン結節

指や手関節が腫れている、痛む

#### ➡ガングリオン

手の甲側の母指の付け根が出っ張っている、物をつかむ・ひねるとその箇所が痛む

#### ➡母指CM関節症

関節をMP関節、付け根の部分をCM関節と呼びます。手の酷使や加齢によって母指のCM関節が変形して関節軟骨の磨耗や亜脱臼を起こし、疼痛(こつこつ)やしびれを発生するのが母指CM関節症です。ヘバーデン結節は、原因は不明ですが40歳代以降の女性に多く、親指以外の指の第一関節・DIP関節の腫れや変形により、ミューコイドシストという腫れが出て痛くなる疾患です。指を曲げる屈筋腱周囲の腱鞘(けんしよう)が腫れるなどして、動かしにくくなるバネ指も女性に多いですね。これらの疾患は、酷使が原因の場合も

ありますが、閉経や妊娠等によるホルモンバランスの崩れなどから女性に多いと考えられています。こうした慢性疾患は、先述した外傷よりも痛みが弱く、放置されることも多いそうです。悪化すると、母指CM関節症もヘバーデン結節も手術が必要になります。「手指は構造組織が繊細かつ複雑です。そのため、専門家でない人が診断した場合は、時には保存療法で良い疾患も手術が必要だと判断してしまったり、その反対の判断をしてしまったりするケースがあります。ですので、手指の異常が発生した場合は手外科の専門医に診てもら

### 最先端の治療を提供する 清恵会病院の手外科

日本手外科学会の手外科専門医は729名(2011年11月末現在)ですが、専門医の所在は地域によってまちまちです。その中で、清恵会病院には、寺浦先生を含めて大阪府下で最多となる5名の手外科専門医が在籍しています。

診療にあたっては、CTスキャンやMRI、レントゲンを駆使して、見えにくい箇所や微小な腱の損傷までも発見します。

「CTスキャンは、従来、骨の撮影が主でしたが、当院では腱の撮影も行っています。これにより、例えば骨折した部分だけでなく、骨折した骨によって傷つけられた微小な腱の損傷など合併損傷も見逃さないように努めています」

治療においては、骨折の場合も各疾患の場合も、状態に応じて薬剤投与や固定などによる保存的療法と手術を行っています。

「バネ指や腱鞘炎などの治療は、ブロック注射によるステロイド剤の投与が一般的です。最近では、効果の高



いステロイド剤があり、これまでは手術が必要だった症例でも手術を行わずに済むケースが増えています。薬物投与は身体への負担が少ないため、安心して治療に臨んでいただけると思います」

バネ指や腱鞘炎では手術を行うケースが減っていますが、その一方で手指の症例全体を見ると、手術件数は年々、増加傾向にあります。清恵会病院では近年、700件弱(大阪外傷マイクロサージャリーセンターの症例も含む)の上肢の手術を行っています。神経・血管損傷に対する顕微鏡視下手術のほか、橈骨遠位端関節内骨折に対しては関節鏡視下手術を施行しています。

# Nurse Face ナース・フェイス —私の看護、私の思い—

## MY テーマ 患者様もスタッフも笑顔にできる看護師になる

### 病棟で働く私の仕事

私が勤務する療養病棟の業務は、清潔保持や全身状態の観察、車椅子での移動補助など、患者様の日常生活の援助が中心です。また、ヘルパーの方々と協力して、週4回ほどのリハビリテーションを兼ねたレクリエーションの企画・運営も行っています。私たちの使命は、患者様等の生活の質を維持・向上させること。患者様への速やかな看護・介助とともに、元気に明るく接することを意識しています。



清恵会三宝病院 3-B病棟  
河村 諭司 さん

**Profile**  
2008年7月入職。「明るく前向きな性格を生かして、いつも周囲を和やかにしたいと考えています」。

### 看護に対する私の思い

患者様に声をかけた時に、「いつも元気よく、明るく接してくださるのね。今日は落ち込んでいたけれど、元気を分けてもらいました」と言っていた時は、すごくうれしい気持ちになりました。私の目標は、患者様もスタッフも笑顔になれるケアの提供と職場づくりができる看護師になること。そのために、医療や日常的なことも含めたあらゆる知識・スキルを吸収していきたいと思っています。

## MY テーマ 相手の気持ちを大切に、安全・安楽な透析をサポートする



清恵会向陵クリニック 第二透析室  
芝辻 享子 さん

**Profile**  
2008年8月入職。「アットホームで、子育てしながらの勤務も可能と、とても働きやすい職場です」。

### 透析室で働く私の仕事

当クリニックは外来透析施設で、私の仕事は透析治療の補助とともに患者様が安心して通院できるようにサポートすることです。透析の看護では同じ患者様と長期的に付き合っていきますし、専門的な知識を身につけることができます。そこが、この仕事の魅力ですね。ですから、患者様に「透析は嫌やけど、あんたの顔を見に来るわな」と言っていた時は、本当にうれしく感じました。

### 看護に対する私の思い

透析患者様へのケアは、身体面だけでなく精神面も理解して対応することが重要です。患者様のメンタルヘルスに注意し、綿密なカンファレンスを重ねるなど、安全・安楽に透析ができるように患者様をサポートしたいと思います。また、以前はICU勤務で透析の経験がなかった私を支えていただいた職場の方々にも感謝しています。今後は、素早い対応など私の経験を後輩たちに伝えていきたいですね。



清恵会病院 麻酔科部長 梁 宗哲

**Profile**  
1957年生まれ。'84年に奈良県立医科大学を卒業し、同麻酔科学教室へ入局。'05年から清恵会病院麻酔科部長を務める。麻酔標榜医、日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会認定医、医学博士。

# 医伝心 #07

～医の最前線から～

「安全な麻酔」をモットーに、  
患者様の幅広い“痛み”の緩和に  
貢献していきたい。

## 年間約1300例の 麻酔症例に対応

私は、麻酔科医として清恵会病院で行われる手術の麻酔や手術後の鎮痛麻酔を手がけています。当院の麻酔科は奈良県立医科大学と連携しており、私と非常勤医を含め2、3名が勤務しています。麻酔科では、「安全な麻酔」をモットーにしており、2010年には1319例の麻酔症例を手がけました。

昔は、一般的に「全身麻酔は危険」という印象を持たれていましたが、当院はトラキライトやエアールウエイスコープなど挿管が困難な症例に対応した麻酔機器を早期に導入しました。

患者様に接する際も同様です。当院では患者様への手術前のヒアリングを行いますし、手術後も鎮痛麻酔の必要性や副作用などを確認するために必ず術後訪問をします。そうして一度でも触れ合った患者様が元気に退院される姿を見ると、自分の仕事にやりがいを感じますね。

## ラグビーのゲームドクターは ライフワークのようなもの

麻酔科医は常に患者様の手術と向き合う精神的負担の大きい仕事です。だからこそ、決して諦めない不撓不屈（ぶとくふく）の精神を意識して、自らを鼓舞しています。そのぶん仕事を離れると、スポーツ観戦や釣りなど趣味の

時間を大切にしています。スポーツ観戦は主に野球とラグビーです。野球は、普段はTV観戦ですが休日には球場へ足を運ぶこともあります。学生時代に親しんだラグビーの場合は少し特殊で、ゲームドクターとしてプロや中学・高校など幅広いカテゴリーを見ている。趣味というよりは、ライフワークに近いかもしれませんね。

ゲームドクターは別にしても、麻酔科の担当領域は近年広がっており、私はさまざまな疼痛（とうつう）に対応するペインクリニックで患者様に貢献したいと考えています。私は以前の勤務先での経験もあり、今後は、当院でペインクリニックの体制を作ることが現在の夢です。





シリーズ07  
清恵会三宅病院

回復期リハビリテーション病棟の  
看護師による充実したサポート

専門の療法士と連携して、  
楽しい入院生活を提供



長い間、私たち看護師にも、リハビリテーション病棟といえは理学療法士や作業療法士など専門の療法士が中心となってリハビリテーション（以下：リハビリ）を実施する場所というイメージがありました。しかし、2000年に回復期リハビリテーション病棟（以下：回リハ病棟）の制度が開始され、2004年には当院に回リハ病棟が開設されたことにより、そのイメージは大きく変わりました。リハビリテーション病棟でのリハビリとは、訓練室で専門の療法士が実施する訓練だけを指すのではなく、病棟での入院生活そのものです。ベッド上での生活や

車椅子への移乗、食事、トイレ、入浴、衣服の着替えといった日常における動作一つひとつがリハビリになるのです。



そこに関わる看護師は、患者様の日常生活動作の自立に向けて、「できないことを援助する」のではなく、「できるようにするための援助」を行う事が重要であり、場合によっては、患者様を積極的に見守ることも大切な看護であると感じています。

もちろん、各療法士との連携も欠かせません。以前の回リハ病棟では、訓練室でできていたことが、病棟にもどるとできなくなるといった事がありました。これは、各療法士と看護師の連携がうまく図れていないことが原因の一つでした。

しかし、今では回リハ病棟専従

の療法士の存在もあり、病棟の至る所で各療法士と看護師が話し合い、患者様の動作確認を共に行う場面が見られます。こうした普段からの連携によって、訓練室での成果が病棟でも継続できるようになり、患者様の状況に合わせて看護師が病棟で行う訓練も可能となっています。

また、入院患者様の精神的なサポートのためレクリエーション活動にも力を入れています。例えば、院内園芸では患者様と共に屋上でさまざまな花や野菜を育て、成長を慈しみ、収穫した野菜を使って一緒に調理や食事を楽しんでいます。他にも、季節の行事や患者様の特技を披露していただく催し、退院された患者様との音楽会や踊りの会の開催など、入院生活にメリハリをつけ、リハビリ意欲につながる取り組みを行っています。

その他、職種の枠を超えて看護研究や業務改善に取り組むなど、日々「何が患者様のためになるのか」と考えながら、スタッフ一丸で患者様の社会復帰、在宅復帰を支援しています。  
（看護部 3-A病棟棟長 石原由美子）

VOICE 医療連携の現場 清恵会の特色である、医療連携の現場を皆様にお伝えします。

Vol.2 清恵会病院のコメディカルが紹介する脳血管障害の患者様への連携体制



NAVIGATOR  
清恵会病院 看護部  
ER(救急救命室) 主任  
小谷 由紀

脳血管障害とは脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などによって起こる脳の神経や機能の障害です。身体の麻痺（まひ）や失語症などの高次脳機能障害を合併する方も多く、診断・治療は一刻を争います。今回は、連携する放射線科、手術部、ICU、リハビリテーション科のコメディカルが、急性期機能病院ならではの連携体制をご紹介します。

医療連携の流れ ER(救急救命室) ▶ 放射線科 ▶ 手術部 ▶ ICU(集中治療室) ▶ リハビリテーション科

【症状の診断——放射線科】  
症状を迅速・適切に診断し治療へつなぐ



脳血管障害の診断には、主にCT検査やMRI検査が用いられており、当院では救急患者様のために24時間の検査体制を整えています。CT画像では、脳梗塞は低吸収域（黒く映る）になり、脳内出血は高吸収域（白く映る）になります。また、MRIの拡散画像という撮影法を用いることで、CTでは判定しにくい早期脳梗塞の診断も可能です。迅速な診察と治療を行うため、各検査の画像データは検査後すぐに診察室へ送ることで、患者様の待機時間を短縮しています。  
（医療技術部 放射線科 係長 河村 清秀）

【手術——手術部】  
24時間体制で緊急手術を行い病棟へつなぐ



地域における救急病院の一角としての役割を果たすために、24時間緊急手術の受け入れを行っています。特に生命の危険が高い脳外科の緊急手術では、早急な準備が必要です。ER(救急救命室)から手術依頼が入ると患者様の情報を適切かつ早急に収集し、主治医・麻酔科医・ER看護師と連携を図り、できるだけ早く、安全に手術できるよう日頃から心がけています。ERから手術部、手術後のICU・担当病棟まで患者様を中心に看護をつないでいきます。  
（看護部 手術室 主任 山口 志帆）

【集中治療・術後観察——ICU(集中治療室)】  
集中治療を行い早期離床もサポート

ICUは14床のベッドを備え、24時間監視下で集中管理が必要な患者様を受け入れています。生命の危機を脱するまで集中治療を行っていますが、ER(救急救命室)の緊急症例は特に情報が少ないため、ERや手術部との連携が重要な鍵となります。患者様の早期回復を願い、呼吸器装着中の合併症を防ぐために呼吸ケアを重視して行っています。また、理学療法士に情報提供を行い、ICUの中でも早期離床に向け、協力して治療にあたっています。  
（看護部 ICU 主任 山本 奈美）



当科では早期の離床を図るために、脳血管障害の発症早期から理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と連携して、患者様の状態を確認しながら関節可動域訓練や麻痺した側の神経や筋肉に刺激を入れる神経筋促進通などを行っています。運動麻痺になると、動く手足だけを過剰に動かすことで筋肉が硬くなる場合があります。こうした二次的の障害を予防するため、主治医や看護師等と連携して筋肉のリラクゼーションや身体の使い方の指導も行っています。  
（医療技術部 理学療法科 理学療法士 大西 純一）

今回のまとめ

救急患者様の場合は、ER(救急救命室)が救急隊員から患者様の情報を確認して受け入れ準備を行い、医師の指示の下で上記連携による診療へ入ります。脳血管障害を起こすと患者様やご家族は不安を抱くと思います。連携する各部署のスタッフは精神面のケアも考慮していますので、気軽に声をかけて下さい。一緒に解決策を考えましょう。

# 学院だより

地域医療の未来を支える若き力

清恵会医療専門学院  
清恵会第二医療専門学院

## ナイチンゲールに誓う… 戴帽式で看護への決意新たに



11月18日、清恵会医療専門学院にて准看護学科32期生32名の「戴帽式（たいぼうしき）」が行われました。多数の来賓やご家族、教職員が見守る中、学生たちは看護師の道を歩み始めました。式典では、壇上で学生一人ひとりに純白のナースキャップが授与されました。続いて、近代看護の礎を築いたフーレンス・ナイチンゲールの看護精神を受け継ぐ儀式として、愛の灯をともしキャンドルサーピスをを行いました。ろうそくの光が揺らめく中、会場に響き渡った学生たちの「ナイチンゲール誓詞は、心に残る力強さに満ちていました。」



は心からの喜びを見出すでしょう。その喜びがモチベーションとなり、さらに優しく親切で心を込めた看護ができるようになると思います」と励ましの言葉を送りました。学生には、この日の感動を忘れずに、立派な看護師に成長して欲しいと思えます。

### 戴帽式とは…

看護師を目指す学生たちが、初めての病院実習に臨む直前に行う儀式です。学生一人ひとりにナースキャップを与える事で、看護師を目指す者としての職業意識を高め、その責任の重さを自覚してもらいます。

### バレーボールサークルだより



11月22日、12月15日、20日に金岡公園体育館で活動しました。清恵会病院で働く先輩たちも多く参加して互いの親睦を深めました。

### 医療の核となる人材を育成する

- 清恵会医療専門学院  
第1看護学科 / 第2看護学科 / 准看護学科  
堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番  
TEL: 072-259-3901
- 清恵会第二医療専門学院  
理学療法士科 / 放射線技師科  
堺市堺区向陵西町4丁5番9号  
TEL: 072-222-6226

詳しくは  
Web&携帯で



<http://gakuin.seikeikai.or.jp>

早期のチェックで  
病気にチェック!

## 神経や筋肉の異常を判別

### 何を調べる検査ですか？

神経・筋電図検査は、神経や筋肉の機能を調べる検査です。検査には、針電極を用いて筋肉の状態を調べる針筋電図検査と、電気刺激を用いて神経系を調べる誘発筋電図検査があります。主に感覚障害(手足のしびれなど)や運動障害(歩行障害などの筋力低下による障害)、その他、勝手に手足が動いてしまったり不随意運動や手足が突っ張る筋緊張異常といった症状の病態評価や診断のために行う検査です。

### 検査の方法、検査の流れは？

針筋電図検査は、まず障害がみられる部分の筋肉に小さな針を刺します。次に医師の指示に従ってその箇所を力を入れたり抜いたりしながら、筋肉が収縮する時の電気的活動を波形で記録します。この

## 気軽に心体メンテナンス

### 第七回 神経・筋電図検査



波形で症状の原因が筋肉の障害によるものなのか、末梢神経の障害によるものかが分かります。針を刺した状態で筋肉を収縮させるので、多少の痛みを伴います。

誘発筋電図検査は、手足の神経に電気刺激を与えて、その刺激が神経を伝わる速度を測定する神経伝導速度検査がよく行われています。この速度が遅いと、末梢神経に障害があることが分かります。

所要時間は、検査内容にもよりますが30〜40分ほどです。

### 検査にあたっての注意点は？

筋電図検査には明確な筋肉の収縮が必要なので、リラックスして検査に臨んでください。神経伝導速度検査では電気刺激によるピリピリした痛みや違和感があるかも知れませんが、身体への害は無いので安心して受検してください。

(清恵会病院・検査科)

### 清恵会地域連携室からのご案内



## 「J-GREEN 堺フェスティバル」に 参画致しました!

平成23年10月1日(土)に堺市堺区の『J-GREEN堺』で開催された「第2回J-GREEN堺フェスティバル」へ清恵会グループが参画致しました。

当日は、秋晴れの下、多数の来場者がいらっしゃいました。清恵会グループのブースでは、総勢28名のスタッフが「健康チェックコーナー」や「AED講習会」、「自助具・福祉用具の展示・体験」、「理学療法士によるテーピング講座」のほか、子どもを対象とした「パルーンアート」や「風船配布」、「ちびっこコース体験」などさまざまな催しを行い、多くの方々に楽しんでいただきました。

今回の貴重な体験を糧に、清恵会グループとして今まで以上に地域の皆様のお役に立てるよう努力していきたいと考えております。



お問い合わせ

清恵会病院  
地域医療連携部 地域連携室

電話 072-251-8199 (内線1413) 8:30~17:00(月~土曜日)

メール s-icls@seikeikai.or.jp

## 清恵会グループのご紹介

### + 清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁2番10号  
TEL.072-251-8199(代)

### + 清恵会向陵クリニック

人工腎臓透析センター

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁2番11号  
TEL.072-251-8199(代)

### + 清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・訪問リハビリステーション

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号  
TEL.072-257-6074

### + 清恵会医療専門学院

看護師・准看護師養成所

〒591-8031 堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地  
TEL.072-259-3901

### + 清恵会本部

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号  
TEL.072-251-8199(代)

### + 清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番1号  
TEL.072-226-8131(代)

### + 清恵会三国丘クリニック

内科・整形外科・形成外科・小児科・リハビリテーション科

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁4番10号  
TEL.072-251-8199(代)

### + さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション施設

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番1号  
TEL.072-225-0066

### + 清恵会第二医療専門学院

理学療法士・診療放射線技師養成所

〒590-0026 堺市堺区向陵西町4丁5番9号  
TEL.072-222-6226

### + ケアプラス

居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁6番25号  
TEL.072-259-4622

## TOPICS! 清恵会NEWS

## SEIKEIKAI NEWS



市立堺病院 大阪府堺市堺区南安井町1丁1番1号



2011年12月21日  
堺市役所にて  
基本協定の締結を  
行いました。

### 清恵会が市立堺病院の 施設後利用者に選ばれました!

2011年7月1日より堺市が公募を行っていた市立堺病院の後利用事業者に、この度、医療法人清恵会が選定されました。

当公募は、市立堺病院(堺市堺区南安井町1丁1番1号)の西区への移転に伴い、既存施設の利用事業者を募集していたものです。

この公募には、医療法人清恵会を含む3法人が参加を表明し、うち2法人が提案応募を行いました。その提案内容について、医療関係者、学識経験者、公認会計士及び地元代表などで構成される「市立堺病院後利用事業者選定委員会」において審査が行われ、今回の事業者決定に至りました。

清恵会では、同地での後利用について、15診療科の継続、休診中の泌尿器科・産科の再開、看護師・准看護師と理学療法士・放射線技師を養成する2つの医療専門学院の移転などを予定しています。

「審査において、私たち清恵会が行ってきた、急性期医療から在宅医療までのトータルな診療体制が評価されたことを非常にうれしく感じております。今回の決定により、堺市における幅広い地域での医療サービスの提供が可能となります。民間医療機関ならではの良さを発揮し、皆様との連携を図り、堺市における医療貢献に尽力していきたいと考えております」(医療法人清恵会理事長・佐野記久子)